

専門コース
「やってみよう！
福祉のおしごと」
9.14～11.20 9回講座



実習・協力

- 「NPO 法人 月人」げつじんお茶の間デイサービス 小西敦子氏
- 「NPO 法人 みち」就労継続支援 B 型事業所よりみち 鈴木悠太氏
- 「NPO 法人 ほっとほーむよっといでん」デイサービスよっといでん 中垣義治氏
- 「(株)SMIRING」スマイリングキッチン LABO 山口達也氏
- 「NPO 法人 きらっとはーと」生活介護事業所「きらりん」 杉浦幸志氏
- 「(株)ALIVE」就労継続支援 B 型事業所 就労支援センタージョルノ若林 荒井勇治氏
- 「一般社団法人いま・ここ」こどもの学習支援いま・ここ・東山ぐうぐう食堂・おすすわけ会 小黒泰之氏
- 「一般社団法人 Will」福祉イノベーションラボ 首藤政俊氏
- 「合同会社 L.CUBE」morimori factory 羽瀨直嗣氏
- 「金沢 QOL 支援センター(株)」リハスファーム豊田 山崎竜弥氏
- シルバー人材センター 山際英氏



●講師● とよた多世代参加支援プロジェクト

とよた多世代参加支援プロジェクトとは、高齢、障がい、こども、若者、生活困窮者を対象とした市内の福祉事業所などで構成される任意団体



左より 事務局長 栗本浩一氏・野々山春菜氏・塚本晃子氏

福祉の知識を学び、ボランティアや就労につなげる専門コース「やってみよう！福祉のおしごと」9回講座（座学5回・実習4回）を開催しました。

本年度7名の方がそれぞれの思いをもって受講されました。実習やふりかえりを行いながら、回を重ねるごとに福祉の大切さや役割を理解し、資格がなくても自分の学んできたこと、経験が活かせる喜びを知った受講生は、就労やボランティアとして、受講後も福祉に関わることを決めた方もいらっしゃいました。

●実習風景と実習ふりかえり●



●先輩さん（利用者さんの施設での呼び方）と脳トレや手遊びなど先輩さん方と関わる仕事をしました。デイサービスのことは全く無知でしたので知ることができてよかった。

（げつじんお茶の間サービス）

●（職員の方の細やかな心配り、気遣い、利用者の方々に寄り添いその結果施設全体がアットホームな雰囲気につながっているのだと思った。

（デイサービスよっといでん）

●利用者の方ができることを増やしていくように関わっていくこと。特性を知りコミュニケーションを取り、関わっていくことが大事だと感じた。（スマイリング キッチン LABO）

●畑での草刈り、自動車部品の組み立ての仕事を行った。収穫した野菜の処理はどのようにするのか、屋外での活動は大変だなと感じた。

（福祉バージョンラボ）

●障がい就労支援の一端を垣間見させて頂き、障害を持った人がもっと社会の中に出ていけるような仕組みがあるといいと思った。

（リハスファーム豊田）

●スタッフの方々の温かい雰囲気が伝わってきてよかった。改めてこどもの支援活動をやってみたいと思った。（こどもの居場所いま・ここ）

●おすすわけ会が終わった後、ボランティアスタッフの人が集まり、感想や反省など話していてチームワークや団結力を高めていたことが素晴らしかった。（おすすわけ会）



●最終日の皆さんのふりかえり●

●福祉と言ってもいろんな事業所があり、いろいろなお仕事の可能性があることに気づけてよかったです。

●本当にこの講座に参加できてよかったと思います。「支え手」「受け手」の関係を越えて。野々山先生のお話は感動的でした。

●当初は受講するか迷っていたが、福祉の仕事に係る人達の姿勢や思いがわかったような気がする。自分自身が一步踏み出すきっかけにしたい。

●色々学び、考え、弱い立場にいる人たちの助けになることができたらいいと思いました。



お世話になったとよた多世代参加支援プロジェクトの講師の方々と記念撮影